

航空機入門 Introduction to Aviation	配当学年	1～4年
	開講学期	前期・集中講座
	単位数	1
	単位区分	
担当教員	富山県立大学教授 坂村芳孝 " 客員教授 戸田信雄	関連する 学習・教育目標
授業の目標	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。	
学生の到達目標	① 航空機の歴史、開発、生産、安全性についてその概要を説明することができる。 ② 航空工学の基礎（空気力学・飛行力学）を理解し、その概要を説明することができる。	
授業計画	① ガイダンス／航空機の歴史 ② 航空機産業の特色／飛行のしくみ ③ 航空機の開発と生産／航空機の安全性 ④ 航空機の整備と運用 ⑤ 航空機部品生産の現場 ⑥ 空気力学の基礎 ⑦ 飛行力学の基礎 ⑧ 航空機に関する最新の研究トピック／まとめ	
キーワード	航空機、飛行機、ロケット、型式証明、複合材料、応力、疲労破壊、ベルヌーイの式、渦、揚力、抗力、静安定	
成績評価法	レポートによって評価する。	
成績評価基準	レポート（100％）	
教科書・教材参考書等	参考書：室津義定「航空宇宙工学入門 第2版」森北出版 ISBN: 9784627690325 牧野光雄「航空力学の基礎 第3版」産業図書 ISBN: 9784782841044	
関連科目・履修条件等	高等学校で物理を履修していることが望ましい。	
履修上の注意事項や学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。	
学生からの質問への対応方法	E-mail: sakamura@pu-toyama.ac.jp	

健康・看護・介護のロボット技術入門 Introduction to robot technology for health, nursing and care		配当学年	1～4年
		開講学期	前期・集中講座
		単位数	1
		単位区分	
担当教員	富山県立大学 教授 大島 徹, 竹内登美子 准教授 岡本 啓, 小柳健一 講師 上村一貴, 佐保賢志, 森重健一, 本吉達郎	関連する 学習・教育目標	
授業の目標	人に優しい看護・介護を目指したロボットや人工知能、生体計測技術に関わる幅広い知識を習得するために、健康・介護・看護と工学の関係を学び、ロボット技術について理解を深める。		
学生の到達目標	① 健康・看護・介護と工学のかかわりを理解し、その概要を説明することができる。 ② ロボットや人工知能、生体計測の基礎を理解し、その概要を説明することができる。		
授業計画	① ガイダンス／健康・介護・看護とロボット技術の関係（大島） ② 健康・体力科学の基礎（岡本） ③ ヘルスリテラシーの基礎（上村） ④ 看護学と工学の連携で広がる人に優しいケア（竹内） ⑤ 健康・介護・看護と運動計測技術の基礎（佐保） ⑥ 健康・介護・看護と人工知能技術の基礎（本吉） ⑦ 健康・介護・看護と運動制御技術の基礎（森重） ⑧ 健康・介護・看護とロボット技術の課題／まとめ（小柳）		
キーワード	健康、介護、看護、ロボット、運動計測、運動制御、人工知能		
成績評価法	レポートによって評価する。		
成績評価基準	レポート（100%）		
教科書・教材参考書等	必要に応じて講義中に紹介する。		
関連科目・履修条件等	これまでの教養・専門基礎科目を標準的に履修していることが望ましい。		
履修上の注意事項や学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。		
学生からの質問への対応方法	E-mail: oshima@pu-toyama.ac.jp		

富山とくすり	配当学年	1～4年
	開講学期	前期・集中講座
	単位数	1
	単位区分	
担当教員	富山県立大学 教員	関連する 学習・教育目標
授業の目標	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤型、DDS、作用機序等）について理解を深める。	
学生の到達目標	① くすりの歴史、製造、開発についてその概要を説明することができる。 ② くすりの働き（剤型、DDS、作用機序等）を理解し、その概要を説明することができる。	
授業計画	① ガイダンス／くすりの歴史と現状／中島 ② 医薬品の設計や合成と構造活性相関／濱田 ③ 微生物や酵素とくすり／米田 ④ くすりのかたちと働き／外部講師 ⑤ 製剤と薬物輸送／村上 ⑥ 遺伝子とくすり／古澤 ⑦ くすりが効くしくみとバイオ医薬品／磯貝 ⑧新しい治療薬～抗体医薬品～／長井	
キーワード	構造活性相関、酵素、微生物、製剤、薬物輸送、遺伝子、バイオ医薬品、オーダーメイド医療、遺伝子治療	
成績評価法	レポートによって評価する。	
成績評価基準	レポート（100%）	
教科書・教材参考書等		
関連科目・履修条件等		
履修上の注意事項や学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。	
学生からの質問への対応方法		